

4
時をさらに遡り、119年前の1890年。現在の和歌山県串本町沖の海で一隻の軍艦が嵐で沈んでしまいました。その軍艦の名前はエルトゥールル号。オスマン帝国（現在のトルコ）の海軍の軍艦でした。船員は海に投げ出され、海岸にたどり着くも力尽き、587名もの人が亡くなりました。なんとか助かった者は断崖を這い登って助けを求めました。この事態を知った大島村（現在の串本町）の住民達は必死に生存者達を救出し、介抱しました。台風で漁に出られず、食料もわずかしかなかったのですが、献身的な介抱の結果、69名の船員が助かったのです。



5
日本海軍の軍艦で生存者達は無事トルコに送り届けられました。今回の悲劇は多くの日本人に衝撃を与え、たくさんの義捐金等が寄せられました。さてここに一人の日本人がいます。彼の名は山田寅次郎。この事件に衝撃を受けた彼はエルトゥールル号の犠牲者遺族に対する義捐金を集めるキャンペーンを行い、集まったお金（現在で約1億）を手にトルコに渡ります。このことから寅次郎氏はトルコで大変な歓迎を受け、当時の皇帝に謁見するにまで至りました。

6
その後、皇帝からの要請でトルコにとどまり日本とトルコの交流に力を注いだのです。イスタンブールで商店を開いたり、トルコの士官学校で日本語や日本の文化を教えたりしました。そしてその中には後のトルコ共和国の初代大統領であるムスタファ・ケマル・アタテュルクもいたとされています。

このことからトルコの人々は日本に対してとても友好的です。

では今回の問題ですが一体トルコと日本の間にどんな事が起こっているのでしょうか？



「自分にも何か出来る事はないかな？」
「問題解決にぜひ協力したい！」と思った方達へ。
ぜひ協力してほしい事があります。



署名

アタテュルク銅像 署名

検索

2009年4月14日よりオンライン署名サイト「署名TV」において署名活動が始まりました。下記サイトより署名が出来ますのでぜひご協力ください。



署名TV

<http://www.shomei.tv/project-932.html>

署名プロジェクト名

「旧トルコ文化村内のムスタファ・ケマル像を当事者間の裁判から切り離し、問題の早期解決を求める要望書」

署名は集まり次第当事者等に提出し改善を要望すると共に、事前に問い合わせを済ませた外務省にも提出し、この問題を外交問題として扱ってくれるようお願いいたします。

注意：必ず読んでください

- ※イラストは全てイメージであり、実際の人物・団体とは一切関係ございません。
- ※スペースの都合上、一部記載できなかった内容もあります。詳細・最新情報は団体サイト等をご覧ください。
- ※当パンフレットの目的は署名を募るものであり、特定の個人・企業を誹謗・中傷するものではありません。
- ※また特定の個人・企業等に今回の問題に関する誹謗・中傷・要望等の電話をすることは絶対におやめください。何らかの問題が生じて、当団体では責任を負いかねます。
- ※また当団体は、特定の政治団体・企業等とは一切関係ございません。

このパンフレットは2009年6月18日に制作されたものです。

ムスタファ・ケマル像を
移転する会



トルコから寄贈された
”友好の銅像”の処遇について



皆さん、こんにちは。

さて皆さんは”トルコ”といえばどんなイメージが湧くでしょうか？

トルコアイス、絨毯、カッパドキア・・・。

もしかしたらこれを読んでいる方の中には「トルコに行ったことがあるよ!」という方もいるかもしれません。実際トルコの人々はとても親切で日本に対して友好的です。

今回、そんなトルコの人々をとても悲しませるある問題がここ日本で起こっています。

「どんなことが起きてるの?」と気になった貴方、まずはトルコと日本の過去についてちょっとお話ししましょう。